

II-3

多発性骨髄腫における顎骨壊死 (ONJ) 8 症例の背景検討

竹之内礼子、寺迫桐子、平井理泉、若林 睦\*、谷村 聡、竹下昌孝、萩原將太郎、三輪哲義

国立国際医療センター血液内科、研究所細胞組織再生医学研究部\*

【目的】Bisphosphonate=BP は顎骨壊死 ONJ の一因とされている。BP 投与 MM での ONJ を検討。  
【方法】 2000 ~ 2007 年の BP 投与 MM 約 200 例 (外来 & 入院 中の ONJ 8 例 (Dimopoulos) BP (PM-パミドロネート, IC-インカドロネート, ZA - ゴレドロン酸) と ONJ との検討【結果】 , 8 症例 66 歳女, BJP 型, DS A。病期 後 Dex&BP (PM 31 ヶ月 <m>+IC19m)。 67 歳女, BJP 型 DS A (CD13+, 13q-), VAD SCH SCT PM 41m, IC 22m 。 60 歳男, IgG 型, DS A。VAD <PM-24m>。 67 歳女, IgG 型、DS A。SCT 未施行。MCNU-VMP MP VAD サリドマイド <PM-48m>。 49 歳男, IgG 型, DS A。VAD SCH <PM-29m, IC-27m、ZA6m)。 62 歳男。VAD PBSCT <PM-18m, IC-27m, ZA-3m)。 74 歳男, IgG 型, DSIA。VAD MP <PM-18m、IC-26m, ZA- 1 3 m >。 56 歳女, 0gG 型、DSIA。未治療 <PM-5m、IC-30m、ZA-7m> , ONJ 発症は MM 診断後 30 ~ 121 (平均 66 )m、BP 後 24 ~ 63 (平均 52 )m、歯科治療歴 7 例。MM 治療は VAD 5 例 ( PBSCT 3 例、MP 1 例、 SCH 1 例)、多レジメン、Dex、未治療各 1 例。【結論】 ONJ の背景として BP 長期投与、歯科治療歴等が示唆された。